デジタル探究コース

横手城南高等学校

デジタル教育
「未来へRUNプロジェクト事業」

"普通高校におけるデジタル人材の育成"

高校教育課 R4～R8

デジタル技術等を学ぶコースを設定し、探究的学習活動を推進

横手城南高校は
モジュール型で推進

対象：
令和5年度入学生1年次から（選択した生徒）

目指す生徒像：
デジタルツールやデータを用いて課題解決能力を高め、将来をよりよく生きていくための技術と資質を身に付けた生徒

横手城南高校は
モジュール型で推進

1年次「情報Ⅰ」(2単位)
↓
「デジタル情報」
(3単位)

※冬休み集中講義で
1単位増単(約30時間)

「デジタル情報」の目標

① 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。

② 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。

③ 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身に付ける。

④ 最先端のデジタル技術を活用した発展的な活動を通して、視野を広げる。

「デジタル情報」
冬期集中講座の学習内容

担当：
「デジナーレ情報学研究所」

① Webページの構成とデザイン
② メタバース基礎と応用
③ AI画像生成
④ Python講座 等

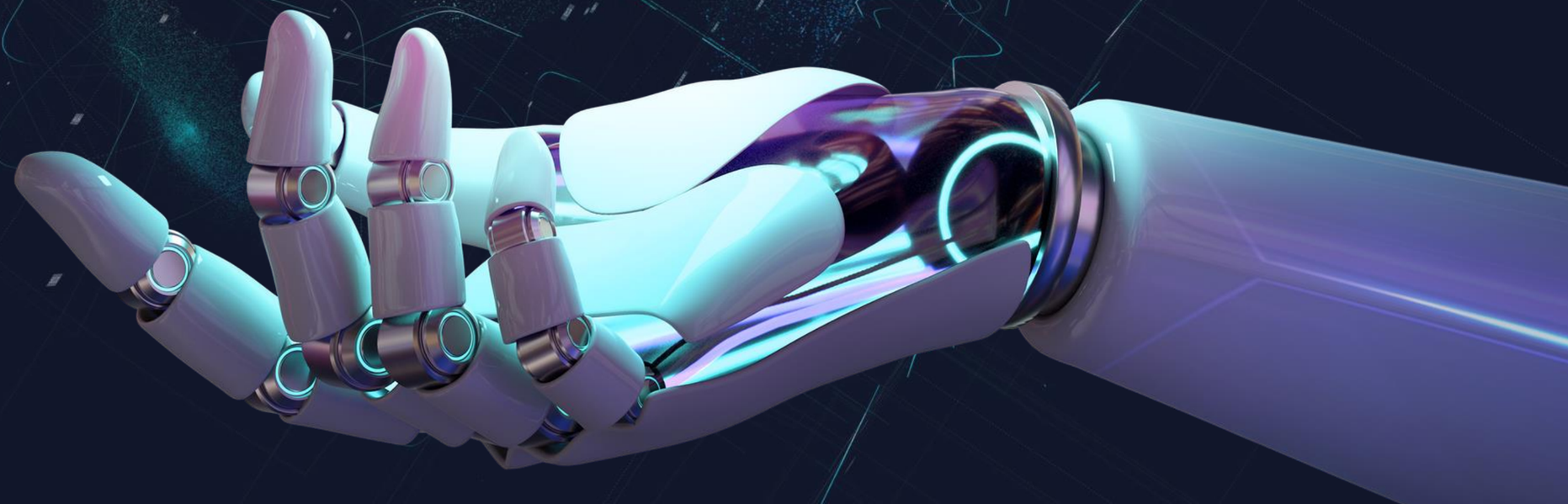
「デジタル探究」(4単位)

「総合的な探究の時間」(３年間で３単位)

＋

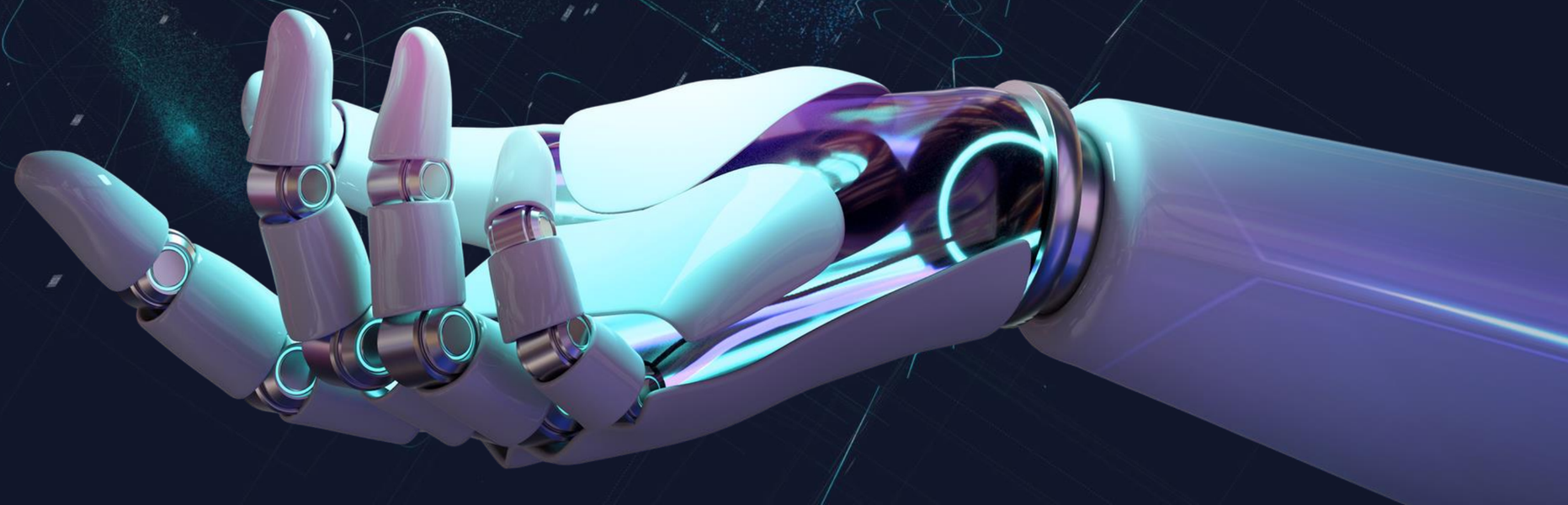
「ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ」

※２年夏休み実施で１単位増単



「デジタル探究」(4単位)

「総合的な探究の時間」の各自で設定したテーマについて、デジタル技術の手法や視点を生かして学びを深める。
(県内IT関連企業等の外部講師による指導)



R5年度「デジタル探究」コースのスタートを視野に入れた「総合的な探究の時間」の展開

京都大学 教育学研究科助教 久富 望 氏

＜第1クール「グラフ化とデータ批判」＞

1 プログラムを用いてデータからグラフを出力する演習
2 横手市の人口データのデータ形式の変更
3 自作のグラフをもとに「何かを主張してみる」活動
4 お互いの内容について批判的思考につながるコメントを試みる活動

R5年度「デジタル探究」コースのスタートを視野に入れた「総合的な探究の時間」の展開

＜第2クール「論証の基礎演習・三角ロジック」＞

1 テーマごとにグループに分かれて、データを探す演習

2 データを収集し、必要に応じてグラフ化する演習

3 課題・問いに対する主張、収集したデータ、これを加工したグラフを三角ロジックにまとめる演習

4 お互いの三角ロジックについて批判的思考につながるコメントを試みる活動

R5年度「デジタル探究」コースのスタートを視野に入れた「総合的な探究の時間」の展開

<第3クール「論証モデルの拡張とデータの活用」>

1 データサイエンスと論証の関係性についての講義
2 三角ロジックから対話型論証モデルへの拡張
3 対話型論証モデルを用いたペアワーク
4 レポートの執筆
5 フィードバック

横手城南高等学校

デジタル探究コース